

## 森林整備事業の新規・拡充事項

【平成19年度概算決定額 103,480(110,423)百万円】

### 事業のポイント

平成18年9月に策定された新たな「森林・林業基本計画」の方向を踏まえた多様で健全な森林整備の推進を図るとともに、「京都議定書目標達成計画」に基づく森林吸収目標1,300万炭素トンの達成に向けた取組を推進します。

具体的には、間伐等推進3カ年対策を着実に推進するとともに、100年先の森林の姿を見据えた広葉樹林化、針広混交林化、長伐期化等の森林整備を強力かつ効率的に推進します。

### (我が国の森林の現状と課題)

- ・ 100年先を見据え、広葉樹林化、長伐期化等による多様な森林への誘導が必要。
- ・ 京都議定書における6%の削減目標のうち3分の2近くを森林の吸収で賄う必要。

### 政策目標

- 重視すべき機能に応じた森林整備の計画的な推進
  - ・ 育成途中にある水土保持林のうち、機能が良好に保たれている機能の割合を維持向上 63%(H15)→66%(H20)
  - ・ 針広混交林などの多様な樹種・樹齢からなる森林への誘導を目的とした森林造成の割合を増加 31%(H15)→35%(H20)
  - ・ 育成林において、安定的かつ効率的な木材供給が可能となる資源量を増加 8.4億 $m^3$ (H15)→9.6億 $m^3$ (H20)

### <内容>

#### 1. 森林整備事業の事業体系の見直し

これまでの森林の機能区分に着目した事業区分を見直し、育成林資源の一体的かつ効率的な整備及びNPO等多様な主体による共生環境の整備を促進します。

#### ① 100年先の森林を見据えた育成林整備の推進

##### (流域育成林整備事業(新設))

水土保持林整備事業と資源循環林整備事業を再編して、育成林整備事業とするとともに、流域公益保全林整備事業及び流域循環資源林整備事業について統合し、機能区分の区域にとらわれずに育成林資源の一体的かつ効率的な整備を促進します。

#### ② 多様な主体による共生環境整備の推進(絆の森整備事業の拡充)

絆の森整備事業について、森林の機能区分の区域にとらわれずに実施することにより、NPO・ボランティア等の多様な主体による共生環境の整備を促進します。

## 2. 広葉樹林化、複層林化、長伐期化等多様な森林への誘導の推進

### ① 多様な森林整備加速化対策（複層林施業の推進）

長期育成循環施業を実施する際の手続きの簡素化を図り、複層林施業の計画的かつ強力な加速化を推進します。

### ② 造林未済地解消対策

京都議定書の第一約束期間終了（平成24年）まで対策を延長し、公的機関が植栽等を行う事業を推進するとともに、造林未済地緊急造林（特定森林造成事業）に天然更新補助作業をメニューとして追加します。

## 3. 低コスト・高効率な作業システムの構築や集約化の促進による効率的な取組の実施

### ① 多様な森林整備推進のための集約化の促進

効率的な施業の実施を推進するため、一定の地域内で複数の施業地をとりまとめて計画的・集約的な施業を実施することを加速するための措置を創設します。

### ② 多様な森林整備のための作業路網の計画的・低コストな整備

多様な森林整備を一定の広がりをもった区域において中長期的な展望を持って計画的に推進する場合、一連の施業のための最も効率的な配置に着目して長期作業路網を施業の実施時期に関わらず一括して整備します。

### ③ 多様な森林整備に対応した既存作業路を活用した作業路網の低コスト・効率的な整備

排水工等の局部改良を内容とする作業路の改良を事業メニューに追加し、既存ストックを有効活用した低コストな作業路網の整備を推進します。

### ④ 多様な森林整備を進めるための林道整備の効率化（路肩等に係る林道規程等の改定）

林道の利用形態が専ら森林施業に供する場合について、路肩幅員及び曲線部の拡幅の縮減により、現地の地形に応じた効率的な整備を推進します。

## 4. 競争力強化等のための森林整備の推進

高齢級の森林を多様な森林に誘導するための森林整備を一体的かつ集中的に実施し、低コスト・大ロットで木材を供給することにより、林業・木材産業の競争力強化や林業・木材産業の構造改革にも資する基盤づくりを推進します。

【森林環境保全整備事業（競争力強化等のための森林整備の推進分）

2,000(0)百万円】

## 5. 森林環境保全整備事業調査

効率的・効果的な森林整備を推進するため、新たに2本の調査事業を実施します。

### <主な補助率>

1/3, 1/2, 45/100等

[担当課：林野庁整備課]